

Catalogue No.

20153-9



用と美の
共鳴

五十鈴茶屋

すべては人との出会いから始まる

本物の 和



用美：前田先生のプロジェクトには、五十鈴茶屋五十鈴川店をはじめ数多く参加させていただきましたが、用美に対するお考えをお聞かせください。

前田：品質にこだわり続けたというだけあって技術力には定評があり、全国にシェアをもつ企業に成長されました。しかし、私はメーカーとしての用美さんとお付き合いしているわけではありません。先代の薫陶を受けたその仕事ぶりは、まさに用美組の仕事と呼ぶべきもので、素晴らしい職人がそろっています。もともと、用美さんが本拠を構える岐阜県は、伝統工芸が盛んなところです。紙漉きがあり、鉄や刃物で有名な関市もある。陶器においてもそれは同様に、桃山時代を代表する志野焼や織部は岐阜県が発祥の地。森林資源を生かした木工技術も卓越しています。我々建築家から見れば、まさに宝の山です。何かほしいと思っても、ここだけですぐにそろってしまいます。特に、モノづくりは組み合わせで創ることが多いため、それを一つにまとめて必要なのがそろえられるというのも強みですね。五十鈴茶屋五十鈴川店の和家具は、まさに用美組に支えられたたといっても過言ではありません。